

町田市接続カリキュラムの概要について

1 策定の背景・課題

➤ 学習指導要領等の改訂

平成 29 年 3 月に公示された新しい学習指導要領等の改訂により、幼保小のみならず、中学校、高等学校まで一貫して育むべき 3 つの資質・能力が整理された。幼児教育の重要性が高まる中で、幼児教育が小学校以降の資質・能力の基礎を育む重要な時期であることを改めて示した。

➤ より求められる小学校との円滑な接続

小学校教育においては、合科的・関連的な指導や短時間での学習などを含む授業時間や指導の工夫を行いながら、幼児期に総合的に育まれた資質・能力を各教科等の特質に応じた学びにつなげていくことが求められている。

➤ 町田市における幼保小連携の現状・課題

町田市で行った「モデル事業」「幼保小連携に関する実態調査アンケート」の結果や接続カリキュラム検討の中で、各園と小学校の現状と課題を明確化した。

- ① 幼保と小の教育内容の違いに関する理解が不足している。
- ② 幼保と小で接続期を見通したカリキュラム策定が進んでいない。
- ③ 幼児期から小学校期の教育に十分に連続・発展されず、幼児期の教育において育成された資質能力が発揮されていない。

2 策定にあたっての基本的な考え方

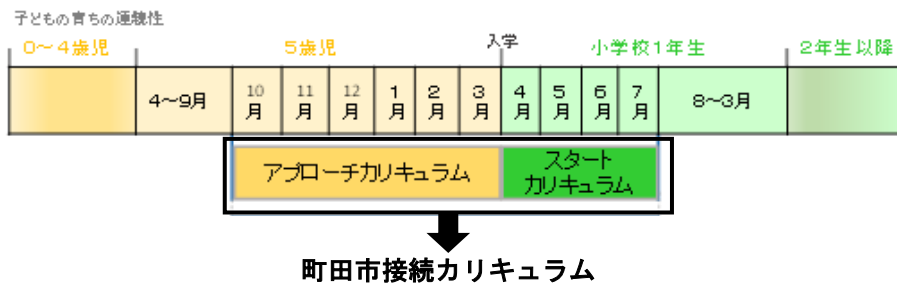
幼児期の教育、小学校期の教育の質向上を図るため、接続カリキュラムは次の基本的な考え方に基づき策定する。

- **子どもの学びと育ちを伸ばす** 幼児期の教育を通して育まれる資質・能力を基礎として、小学校においても、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能になるよう、子どもの学びと育ちを伸ばす。また、特別な支援を必要とする児童へより一層の配慮を行う。
- **相互に接続を見通した教育の実践** 保育者・教員が幼保の「遊び」を通した総合的な教育と、小学校の教科等の系統的な教育との「教育の質の違い」に配慮する。
- **職員間の意見交換、合同研究の充実** 保育者・教員が相互に子どもの発達を長期的な視点で捉え、互いの教育内容や指導方法の違いなどの理解を深められるようにする。
- **幼保小子ども交流の充実** 入学前の子どもたちが、小学校生活への期待が膨らみ、前向きな意欲へとつながるよう幼保と小学校の子ども同士の交流（授業体験、児童の園訪問など）を重視する。
- **保護者理解・連携の促進** 保育者・教員が保護者の幼児教育への理解を促進し、家庭との連携を深め、接続期の子どもの学びと育ちを伸ばすことができるようにする。

3 本カリキュラムの特長

(1) 町田市接続カリキュラムを2つのカリキュラムで構成

- 5歳児の10月～3月（アプローチ期）のカリキュラムを「アプローチカリキュラム」、小学校1年生の4月～7月（スタート期）のカリキュラムを「スタートカリキュラム」で構成



(2) 町田市として目指す「なかよく・わくわく・いきいき 町田っ子像」

- 町田市内の幼保・小学校が、共通の目的・方向性をもって接続期の教育が実践できるよう、町田市として目指す「町田っ子像」、「8つの具体的視点」を示した。
- 保育者・教員が「町田っ子像」を実現するために、接続期のそれぞれの子どもの姿を捉えた上で保育・教育を実践するための視点を「8つの具体的視点」としてまとめている。

◇目指す「町田っ子像」

「なかよく・わくわく・いきいき町田っ子」

- 友だちや先生などまわりの人との関わりを大切にしながら、みんなで学び合い、生活する“なかよく”
- 様々なことに心動かし、興味関心をもって取り組む“わくわく”
- 集団生活の中でも子ども一人ひとりが自分に自信をもって行動する“いきいき”

◇「町田っ子像」と「8つの具体的視点」

<ともに生活する子>

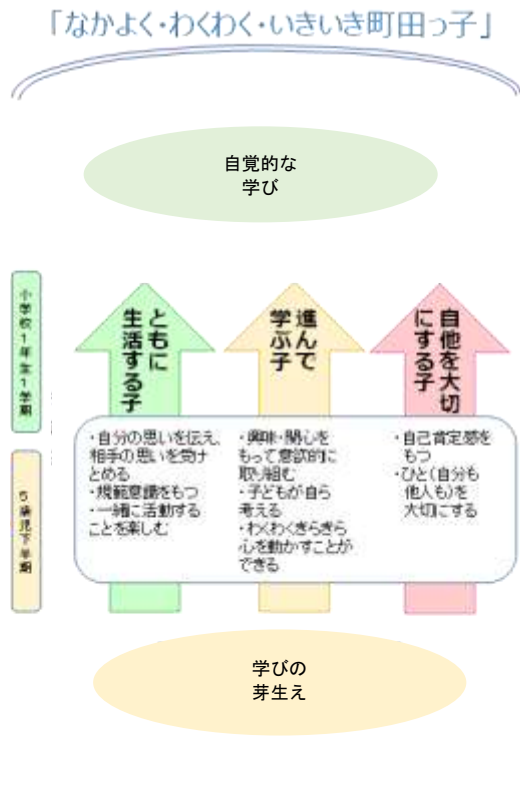
- 自分の思いを伝え、相手の思いを受けとめる
- 規範意識をもつ
- 一緒に活動することを楽しむ

<進んで学ぶ子>

- 興味・関心をもって意欲的に取り組む
- 子どもが自ら考える
- わくわくきらきら心を動かすことができる

<自他を大切にする子>

- 自己肯定感をもつ
- ひと（自分も他人も）を大切にする



(3) 「つながりシート」

- ▶ 保育者・教員が子どもの育ちの連続性を把握し、それぞれの子どもの時期にふさわしい教育を実践できるように支援のポイントや環境づくり、活動例を示した「つながりシート」を策定

＜つながりシート イメージ図＞

つながりシート										
ともに生活する子 自分の思いを 伝え、相手の思いを受けとめる										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
<p>1歳児の成長の姿</p> <p>自分の思いを伝えることを言葉で表現し、他人や友達に話を聞く姿勢をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉と絵のイメージを共有し、自分の思いや考えを言葉で伝えようとする。 ・自然に必要な言葉「あいさつ、ごめんなさい、ありがとう」を言葉にできる。 ・困っていることなど今現在が言葉で表現できる。 	<p>2歳児の成長の姿</p> <p>言葉を通して互に言葉と心を通わせる話を聞くことの大切さを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の話題に向けて話したり、話し合ったり、返事を分けて話したりする。 ・お話を聞く姿勢をもち、相手の思いに気づく。 						<p>3歳児の成長の姿</p> <p>人の話をよく聞こうとする。話の要点をいかに話そうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を聞きながら、文章や言葉で伝えようとする。一緒に考えようとする。 ・困ったときや話したいことがあるとき、自分の言葉で考えを伝えられる。 ・人の話をよく聞き、相手の思いや意見を聞こうとする。 			
<p>2歳児の成長の姿</p> <p>心はたくさん子どもと話すようとする態度を見せ、話を聞かせたり、話を進めず勝手に話を進めたりして、受け止めてもらえる安心感を感じられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声のトーンや表情、話し方を工夫する。 ・思ったことを話したり、自分の話を聞いてもらうように言葉をつなぐ。 	<p>3歳児の成長の姿</p> <p>話を聞く姿勢、相手に伝わる話し方をなどを理解できるようになり、よく聞いている子どもを認めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く姿勢、相手に伝わる話し方をなどを理解できるようになり、よく聞いている子どもを認めたりする。 ・伝わりにくいところ、言葉が足りないところなど言葉が伝わりづらくならないよう、質問したり、話を聞かせたりする。 						<p>4歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 ・手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 			
<p>3歳児の成長の姿</p> <p>自分の思いや考えを伝えること、まだわからない言葉や表現がわかること、話す、聞くことなど自分の成長がわかること、また、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝えること、まだわからない言葉や表現がわかること、話す、聞くことなど自分の成長がわかること、また、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。 	<p>4歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 						<p>5歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 			
<p>4歳児の成長の姿</p> <p>自分の思いや考えを伝えること、まだわからない言葉や表現がわかること、話す、聞くことなど自分の成長がわかること、また、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝えること、まだわからない言葉や表現がわかること、話す、聞くことなど自分の成長がわかること、また、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。 	<p>5歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 						<p>6歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 			
<p>絵や図から学校へつながり</p> <p>自分の思いや考えを伝えることは、相手に伝わりやすくなる。受け止めてもらえる環境に心を配り、自分のことを話したいなどの経験が活かせば相手の思いも話を進めようとする態度・態度・態度につながる。この積み重ねがいつか「話したい」という態度が一人ひとりの話し方、聞き方の土壌となることを目指し、自身の成長を自分の手で上げていくよう</p>										

つながりシート										
進んで学ぶ子 わくわくきらきら 心を動かすことができる										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
<p>1歳児の成長の姿</p> <p>自分の思いや考えを伝えること、まだわからない言葉や表現がわかること、話す、聞くことなど自分の成長がわかること、また、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝えること、まだわからない言葉や表現がわかること、話す、聞くことなど自分の成長がわかること、また、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。 	<p>2歳児の成長の姿</p> <p>話を聞く姿勢、相手に伝わる話し方をなどを理解できるようになり、よく聞いている子どもを認めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く姿勢、相手に伝わる話し方をなどを理解できるようになり、よく聞いている子どもを認めたりする。 						<p>3歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 			
<p>2歳児の成長の姿</p> <p>話を聞く姿勢、相手に伝わる話し方をなどを理解できるようになり、よく聞いている子どもを認めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く姿勢、相手に伝わる話し方をなどを理解できるようになり、よく聞いている子どもを認めたりする。 	<p>3歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 						<p>4歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 			
<p>3歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 	<p>4歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 						<p>5歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 			
<p>4歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 	<p>5歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 						<p>6歳児の成長の姿</p> <p>話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。思いやりや思いやりを伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が聞けるもの、手紙や言葉、絵や文章などの話を聞き、ときには相手の思いや気持ちに寄り添うことができる。 			
<p>絵や図から学校へつながり</p> <p>進んで学ぶこととつながり、自分の思いや考えを伝えること、また、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。受け止めてもらえる環境に心を配り、自分のことを話したいなどの経験が活かせば相手の思いも話を進めようとする態度・態度・態度につながる。この積み重ねがいつか「話したい」という態度が一人ひとりの話し方、聞き方の土壌となることを目指し、自身の成長を自分の手で上げていくよう</p>										

(4) 町田市接続カリキュラム作成方法

- ▶ 本カリキュラムに基づき、各園・小学校で子どもの円滑な接続を見通した教育課程の編成を行う。そのために、その編成の標準的な様式として「アプローチカリキュラムシート」と、その作成手順、方法について掲載。また、小学校入学以降、幼児期の育ちや学びを踏まえ各教科等における学習につなげるための「スタートカリキュラム」の作成手順、方法を提示

<アプローチカリキュラムシート イメージ図>

アプローチカリキュラムシート

育むべき資質・能力		5領域 健康 人間関係 環境 言葉 表現		幼児期の終わりまでに育ってほしい姿		◎生きて働く「知識・技能」 ◎未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」 ◎学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性」						
		◎知識・技能の基礎(気づき、できるようにすること) ◎思考力・判断力・表現力等の基礎(試す工夫すること) ◎学びに向かう力・人間性等(やってみたことに向けてがんばること)	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活上のかかわり ⑥職業への芽生え ⑦自然とのかかわり・生命尊重 ⑧数量や図形、運動や文字などへの関心・感覚	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活上のかかわり ⑥職業への芽生え ⑦自然とのかかわり・生命尊重 ⑧数量や図形、運動や文字などへの関心・感覚	◎生きて働く「知識・技能」 ◎未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」 ◎学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性」							
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
		ア プ ロ ッ チ カ リ キ ュ ラ ム						スタートカリキュラム				
		身につけたい内容と活動例						指導上の留意点(支援・環境づくりの工夫)				
ななよやく・わくわく・いきいき町田っ子	自分の思いを伝え、相手の思いを受けとめる	自分の書いたことを言葉で表現し、先生や友だちの話を聞く姿勢をもつ → 言葉を通して先生や友だちと通わせる 話を聞くことの大切さに気付く 話を聞き、内容を理解し、イメージし、自分に置き換えて、善悪を判断できるようにする。(絵本や紙芝居の読み聞かせ)【10の姿 ④⑤⑥⑦】 ・決定事項が必要な話し合いでは、相手の思いをうけとめることで話がまとまることに気づく(組体操のフォーメーション決め)【10の姿 ③④】						人の話をよく聞くこととする。わかっているように振る舞う				
	規範意識をもつ	約束やきまりの意味がわかり、それを守ろうとする → 良いこと悪いことの判断ができる ・運動の種を多く、飛び出さない。車が来たら横断線まで止まる等のルールを守り、散歩を楽しむ。(散歩)【10の姿 ④】 ・団体競技では、自分自身も安全に楽しむためにルールを守る必要があると気づく。(バスケットボール大会)【10の姿 ③④】						ルールの大切さがわかり、みんなでルールを守って楽しく遊ぶこととする				
	一緒に活動することを楽しむ	友だちを受け入れる気持ちをもち、仲を深めていく → 共通の目的に向けて、友だちと協力する ・皆で協力し、花びらや落ち葉等の清掃を行い、きれいになったことを喜び、満足感を味わう。(当番活動)【10の姿 ③④⑦】 ・自分一人だけのアイデア・行動力では達成しえない活動があり、その中に深い楽しみがあることに気づく。(発表会)【10の姿 ③④】						友だちと助け合い、楽しく学校生活を過ごそうとする				
進んで学ぶ子	興味・関心をもって意欲的に取り組む	身近なことに関心をもつ → 興味をもったことに積極的に取り組む ・課題にも興味があること、ルールがあることを知り、どのような過程でできるのかを知り、意欲的に学ぶ。(クッキー作り)【10の姿 ③④⑦】 ・自ら調べること、活動内容がより興味深く楽しくなることに気づく。(さいもいも祭り)【10の姿 ②】						いろいろなことに興味・関心を持ち、取り組もうとする				
	子どもが自ら考える	遊びの面白さに気づく → 遊びを工夫したり、積極的に楽しんだりする ・子ども同士でルールを決めて遊ぶ。この時に各自が積極的に意見を言い合い、取り入れることでより遊びが広がる。(室内遊び)【10の姿 ①③④⑤】 ・試行錯誤しながらものを作る過程で、必要な知識や道具があることに気づく。(お遊戯さんごっこ)【10の姿 ③④⑤】						学ぶことの大切さを知り、学習内容の理解を深める				
	わくわくきらきら心を動かすことができる	身近なものにたくさんふれあう → 感じたことやイメージしたものを自由に表現する ・いつもとは違う光景を新鮮に感じ、様々な五感で感じ感動する。(秋の遠足)【10の姿 ⑦⑧】 ・物語のストーリー展開、登場人物の気持ちや行動が理解できたり、自分だったらどうだろうと想像を膨らませる。(絵本読み聞かせ)【10の姿 ③④⑤⑥⑦】						さまざまな環境とふれあひ、豊かに経験をもつ(わがせ)				
自然を大切にしている子	自己肯定感をもつ	のびのびと生活する → 自信をもって行動する ・皆で協力し、練習してきたことを発表することで、各自が達成感を味わい、今後の様々な場面の自信につなげていく。(おやこふれあいDAYの発表)【10の姿 ②③】 ・自分自身で身の回りのことが出来ることに気づく。(お泊り会)【10の姿 ①②】						新しい環境に自らかかわり、自信を深める				
	ひと(自分も他人も)を大切に	身近な人々との交流を楽しむ → 思いやりと感謝の心をもってかわらうとする ・各クラスに入り異年齢児のお世話をすることで、音を響けたり、優しく接する気持ちを持つ。(異年齢児交流)【10の姿 ⑤⑥⑦】 ・様々な人生の中で、思いやりの気持ちをもつ大切さ、自分も誰かに大切にされている存在だと気づく(ディナー・ピス訪問)【10の姿 ⑤⑦】						新しい環境に親しみ、人間関係を育む				
カリキュラムの充実に向けて												
施設での取り組み	幼児期 ・学校訪問 ・学校給食 ・給食交流 ・園児の授業体験 ・職員先生との交流 ・幼保小担当委員会 ・園児の研修会					就学期 ・経路保育の実施 その他		就学期 ・幼稚園・保育園での経験や学びを参考に、近隣の幼稚園や保育園を参観したり、保育者に話を聞いたりするなど、児童の学び方や指導の仕方を知り、小学校での指導に生かす。 ・生活に即した学びの構成を考える 興味・関心は意欲的な学びを支える重要な要素である。児童の気持ちやつなびから活動を広げたり、教師のしかけで児童の興味・関心を引き出したりするなど、柔軟な発想で授業を構成する。 ・教職員委員会の理解を図る 1年生は0年間の小学校生活のスタートであり、円滑にスタートすることはその後の学校生活を支えることになる。学校体制として小学校のスタートを支えるため、教職員全員で共通理解を図ることが大切である。				
家庭との連携	月に一度、連絡帳にて、園の様子を知らせる(楽しんでる様子や頑張っている様子等) ・子どもからお父さんお母さんへのお手紙を渡し、園でどのような活動をしているか実感してもらおう。											

(5) 円滑な接続を見通した教育の実践事例

- 接続期の課題や市内各幼稚園、保育園、公立小学校における取り組み等を踏まえて、幼児期から児童期への円滑な接続をするための教育の実践事例を提示

＜掲載事例＞

- 交通安全教室で交通ルールを守ろう！ ●音はなぜ出るの？ ●電車ごっこ
- 朝のスピーチ ●さあ はじめよう きょうから 1ねんせい ●異文化にふれよう！

＜実践事例のイメージ図＞

アプローチ
カリキュラム
実践例

【活動名】
異文化に触れよう！

＜ひとと（文化も他人も）を大切にすると＜興味・関心をもって積極的に取り組む＞
・最近の人々との交流を深める
・身近なことに関心をもつ

知覚づくり	子どもの姿	保育者の支援
<p>・世界には様々な国や文化があることを知らせる。「こんな国や文化があるが知っている？」などと問いかけ、興味をもたせる。</p> <p>・ピアノカ「J」系の文化か ・J系は英語で自己紹介をしてみよう。 ・簡単なリズム遊びを教えよう。 ・Head, Shoulders, Knees, and Toes) 言葉をかけ、言葉とコーリアをふるダンスやサークルダンスを行おう。 ・今度は、日本語で同じ手遊びを行うことで、交流をもつ。</p> <p>「ネット ネット スマートゲーム」 ・ゲームのルールをしながら、その中で出てくる言葉を覚えて覚えてみる。言葉を覚えてきてみる。</p> <p>・今度は、日本語で同じ手遊びを行うことで、交流をもつ。</p>	<p>・知っている国や文化を話す。</p> <p>・最初は聞く様子も見られるが、少しずつ興味を示し始める。</p> <p>・言葉が分からなく、している姿というところもあり、リズムに合わせて体を動かしたりする。</p> <p>・英語を口ずかみながら行う子もいるが、中には人間関係して動かしだす子もいる。</p> <p>・知っているリズム遊びというところで、関心して行い、J系との関わりも深まる。</p> <p>・目で同じ言葉を覚えることを楽しむ。</p> <p>・色々な国の言葉を覚えてきたり、外国の人と一緒に遊んだりする楽しさを覚える。</p> <p>・遊びながら外国の文化や言葉を学び、人それぞれの違いがあることを理解し、尊重できる。</p>	<p>・例えば、「こんにはは」という言葉はほかの言葉で話すと何て言うかなど具体的に話し、友達同士であいさつやダンスやサークルなどをしてみる。</p> <p>・子どもが安心して参加できるように、様々な言葉で日本語で説明をしていく。</p> <p>・「頭、肩、膝、足・・・」などを日本語で確認し、その時の簡単なリズム遊びがあることを知らせる。</p> <p>・一緒に行うことで英語のリズム遊びの楽しさを伝える。</p> <p>・理解がすすむと、自然と参加できるようになる。</p> <p>・英語のリズム遊びを教えたもらったので、今度は子ども同士、同じリズム遊びを日本語で行おう。</p> <p>・ゲームはしごゲームと同じ言葉で遊ぶことを知らせ、今日は「さつぱい」をテーマにする中で言葉遊びはまた別の持っている人はゲームで、あひもダンスをするのを奨励し、手を覚える。</p> <p>・外国の文化を取り入れたゲームを実施するなど、遊びの幅を広げていく。</p>

＜小学校へつなぐ視点＞

遊びを通して、外国の文化や言葉を学び、相手の感情がわかることの大げんかや喜び、外国や文化で判別するのでなく、楽しみながら、お互いのことを理解していくことを学ぶ。他国との関係や違いを知ることで、人はそれぞれ違うことと受け取り、個人個人を尊重する大切さを知る。

＜10の記号のつなぐポイント＞

健康な心と体	好奇心	協同性	道徳性・規範意識	対人関係
思考力	自然	数や文字	言葉	感情と表現

アプローチ
カリキュラム
実践例

【活動名】
音はなぜ出るの？

＜わくわくきらきら心を動かすことができる＜興味・関心をもって積極的に取り組む＞
・新しいものや環境を恐れずにものに当たるとき、心の動きに気づく
・興味をもつことに積極的に取り組む

知覚づくり	子どもの姿	保育者の支援
<p>・楽器ごっこ、ピアノを弾いて音をみんなであらって楽しんでいる様子に、「ピアノの中はどんな感じなのかな？」と、ピアノの音に興味をもつように声をかけるとそこから始める。</p> <p>・子どもも、どうしてピアノの音がなるのかを聞いてみよう。絵とピアノの音の関係を調べるようにする。</p> <p>・「こま高実用に見てみよう」と呼びかけ、ピアノの音を聞いてみることで音を覚える。</p> <p>・ピアノ以外でも楽器の音に興味をもつよう、音の出るもの（楽器やがらみ、パチンコ、ペットボトルなど）を用意しておく。</p> <p>・ピアノ以外でも楽器の音に興味をもつよう、音の出るもの（楽器やがらみ、パチンコ、ペットボトルなど）を用意しておく。</p>	<p>・ピアノの音の仕組みに興味をもつ。</p> <p>・ピアノの音がなぜ出るのか、想像をふくらませることが出来る。</p> <p>・ピアノの音がなぜ出るのか、想像をふくらませることが出来る。</p> <p>・ハンマーが鍵盤を叩くことによって音がなる仕組みを理解することが出来る。</p> <p>・鍵盤の位置や高さによって音がかわることに気づく。</p> <p>・楽器の音のちがいの出る音の音質や高さ、早い遅いなどに違いがあることに気づく。</p> <p>・楽器の音の仕組みに興味・関心をもつことが出来る。</p>	<p>・ピアノの音の仕組みに興味をもつ。</p> <p>・ピアノの音がなぜ出るのか、想像をふくらませることが出来る。</p> <p>・ピアノの音がなぜ出るのか、想像をふくらませることが出来る。</p> <p>・ハンマーが鍵盤を叩くことによって音がなる仕組みを理解することが出来る。</p> <p>・鍵盤の位置や高さによって音がかわることに気づく。</p> <p>・楽器の音のちがいの出る音の音質や高さ、早い遅いなどに違いがあることに気づく。</p> <p>・楽器の音の仕組みに興味・関心をもつことが出来る。</p>

＜小学校へつなぐ視点＞

豊かな感性を育むためには、子どもが音に興味を持ち、何に気づき、どんな感情を抱くのか、それによってどのようにイメージが広がっていくのか、楽器の仕組みに注目して、そのような経験ができる機会をたくさん用意することで、音の音の仕組みや音の仕組みがわかる。子どもたちがわかっていけるようにする。

＜10の記号のつなぐポイント＞

健康な心と体	好奇心	協同性	道徳性・規範意識	対人関係
思考力	自然	数や文字	言葉	感情と表現

(6) 子どもの交流、職員間の連携、家庭との連携

➤ 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るための具体的な取り組みとして、園と小学校の交流・連携の方法や、家庭との連携について提示

- 子ども同士の交流・・・園訪問、学校訪問、授業見学など
- 職員間の連携・・・幼保小連携協議会、幼保小担当者会議、職員合同研修など
- 家庭との連携・・・保護者就学準備説明会（アプローチカリキュラムの説明、家庭で行う就学準備）、就学説明会（スタートカリキュラムの説明等）、小学校参観など

4 本カリキュラムの今後の展開

- 接続期カリキュラム講演会の開催
接続期の子どもの教育に関する講演を行う。2019年2月開催予定。
- 接続カリキュラム作成実践ワークショップの開催
町田市内5地域に分け、各地域に設置する幼稚園、保育園、認定こども園の保育者および小学校教諭が一同に介し、カリキュラム内容の説明、参加者同士で幼保小連携の理解を深めるための意見交換やデモンストレーションを実施する。

<町田市接続カリキュラム検討委員（敬称略）>

鶴川第一小学校	校長	中村 雄一	立華幼稚園	園長	山岸 喜一郎
	主任教諭	小泉 裕美（2年担任）	町田こぼと幼稚園	副園長	神蔵 かおる
町田第一小学校	主幹教諭	後藤 富美子（1年担任）	鶴川若竹幼稚園	園長	萩原 康弘
町田第四小学校	主任教諭	山田 江里（2年担任）	開進幼稚園	年長学年主任	近野 結以
南つくし野小学校	主任教諭	竹下 侑希（1年担任）	山崎保育園	担当係長	加藤 三津子
小山中央小学校	主任教諭	栗城 佳美（2年担任）	しぜんの国保育園	園長	齋藤 美和
高ヶ坂小学校	校長	大和 愉子	小野路保育園	5歳児担任	小寺 咲
	主任教諭	佐藤 陽子（2年担任）	サンフィール保育園	園長	網野 裕華